＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

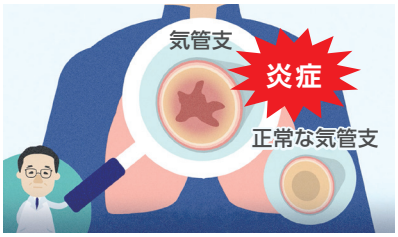
# 呼気一酸化窒素（呼気NO（エヌオー））検査では、気管支の炎症の程度を測定します

【監修】松永 和人 先生（山口大学医学部附属病院 病院長）

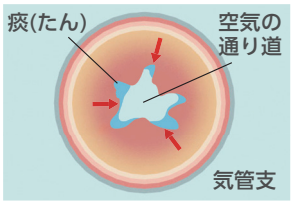
## 検査の目的

- ☐ 初めての方 ➤ 喘息に特徴的な炎症があるかどうかを確認します
- ☐ 2回目以降の方 ➤ 現在の気管支の炎症の状態を確認します（今のお薬が効いているか?お薬の変更が必要か?）

## 気管支の炎症とはなんでしょうか?




気管支がせまくなり、喘息症状がでる

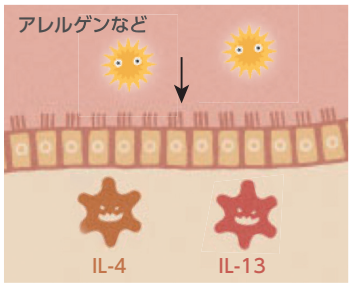



炎症が続くと、気管支はさらにせまく・硬く

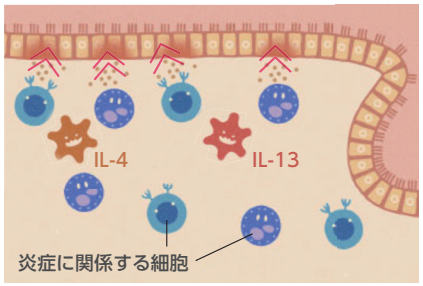
喘息症状はさらに悪化する

炎症とは、腫れて赤くなっている状態などです。空気の通り道である気管支で炎症が起きると、痰が出たり、気管支の筋肉が縮んだりすることで、気管支がせまくなってしまいます。これによって空気が通りにくくなり、喘息のさまざまな症状が起こります。炎症が長く続くと、気管支はますますせまく、硬くなり、喘息症状はさらに悪化してしまいます。

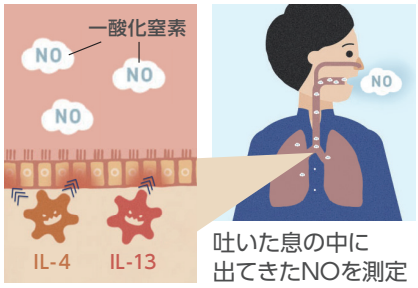
## 気管支の炎症はどのようにして起きているのでしょうか?




喘息患者さんの気管支では、アレルゲンなどによって刺激を受けると、インターロイキン（IL）4や13などの物質が作られます。




インターロイキン4や13などは、炎症に関係する細胞に働きかけ、気管支の炎症を引き起こします。炎症が起きると気管支がせまくなり、喘息のさまざまな症状が起こります。




同時に、インターロイキン4や13などの刺激は、一酸化窒素（NO）を大量に生み出します。このNOを測定したのが、今回の検査です。

## 喘息では、気管支の炎症の状態を知ることが重要です
## あなたの炎症の程度は下記の通りです

**あなたの気管支の炎症の程度をあらわす呼気NO濃度は…** ＿＿＿＿＿＿＿＿ ppb

詳しくは動画をご覧ください

MAT-JP-2302213-1.0
2023年3月作成

サノフィ株式会社

sanofi